

Glassdoor, Inc.の株式取得（子会社化）に関する記者会見でのご説明内容

（※各項目のページ数は、同日開示した資料「Glassdoor, Inc.の株式取得（子会社化）に関して」のページ数に対応しています）

■ P1 : Glassdoor, Inc.の株式取得（子会社化）に関して

本日对外公表させていただきました、インターネット求人サイトを運営する米国未上場企業Glassdoor社の買取に関して最終契約書の締結に至りましたのでご報告申し上げます。

本日は、私、リクルートホールディングス 執行役員の荒井より、本件取引の概要とGlassdoor社の概要をご説明させていただいた後に、弊社COO兼HRテクノロジーSBU長の出木場久征による説明ビデオをご覧いただき、その後、Glassdoor社のビジネスモデルのご説明と事業規模等の計数のご紹介、そして、本件が当社リクルートホールディングスの連結損益計算書に与える影響についてご説明申し上げます。

■ P3 : Glassdoor, Inc.

Glassdoor社は、求職者、従業員、元従業員等による企業レビューや給与情報、面接での質問や回答等、信頼性の高い口コミ情報の膨大なデータベースを公開することで、求人企業の透明性を高めたことで有名な米国企業です。

この会社のロゴマークが表すように、外から透明なガラスのドアを通して会社を覗くイメージです。是非、後ほど同社のウェブサイトをご覧いただければと思います。

■ P4 : 取引概要

当社は、Glassdoor社の発行済株式全株を12億米ドル、日本円に換算しますと約1,272億円で取得いたします。この買収資金は手持ちの現預金で全額充当いたします。取引完了の条件と承認が取れ次第、取得対価の払込みを執行し本件を完了いたします。

本件取引は2019年3月期第2四半期中の完了を予定しております。取引後にはGlassdoor社は、当社のHRテクノロジーSBU傘下の子会社として事業運営を行います。

当社連結業績への影響については最後にお話いたします。

■ P5 : Glassdoor社概要

Glassdoor社は、米国カリフォルニア州に本拠を置く2007年に創業された会社です。

「全ての人々が自分に相応しい気に入った仕事を見つけるために」をミッションとして掲げる、世界有数の規模であり、かつ急成長しているインターネット求人情報サイトを運営する会社です。

冒頭申し上げました通り、求職者、従業員、元従業員等による口コミ情報の膨大なデータベースを公開することで、求人企業の透明性を高めたことで知られています。Robert Hofman CEOのリーダーシップのもとで成長を続けており、直近の事業年度の売上高は1億7,100万米ドルに達しています。従業員数は約750名です。

本件についてCOOの出木場よりビデオでご説明申し上げます。

(別途、当社HP上で公開しているビデオをご参照下さい)

■ P6 : 求職者ユーザー向け「口コミ」コンテンツから生まれたビジネスモデル

Glassdoor社は、求職者が仕事や企業を調べる際に、求人企業の従業員が匿名で投稿する口コミを参考にすることで、就職先候補企業の透明性を高めよう、という発想から生まれた会社です。

やがて、そのフォーラム（インターネット上の情報交換の場）は、求人企業の口コミ、CEOの評価、給与データ、また仕事の内容が掲載される場になり、Glassdoor社は米国でも有数のユニークビジター数を誇る求人サイトを運営する一社となりました。特に口コミは、求職者ユーザーにとって、仕事選びの際に大変有益な情報となり、就職先を決めるに当たって企業の十分な情報に基づいた意思決定を可能にするのです。

求職者ユーザーは無料でGlassdoorサイト上の口コミを始めとする情報を見ることができます。Glassdoor社の売上は、企業による求人広告や求人活動によるものです。

Glassdoor社は、まさに求職者と求人企業のマッチングを世界で展開する企業であり、これが当社リクルートグループとの親和性が高いと判断した大きな理由です。

■ P7 : 世界最大規模の求人企業に関するUser-Generated Content (UGC) サイト

Glassdoor社の規模としては、月間5,900万ユニークビジター、サイトには、4,000万コンテンツ、掲載企業数は77万社以上、1,600万件の仕事が掲載されています。

■ P8 : 主要指標

求職者ユーザーの信頼が増して利用が増えているのは、左のチャートの様に、年々ユニークビジター数が高成長していることからよく分かります。2015年3月期から2018年3月期までに売上高はCAGRで60%の成長を達成しています。直近でも37%の伸長を記録しています。

■ P9 : 本買収の主な理由

当社のHRテクノロジーSBUに、膨大な求人企業情報を提供するGlassdoor社が加わることで、すなわちGlassdoor社とIndeedが兄弟会社として協働していくことは、事業戦略的に極めて重要です。

それはすなわち、信頼され非常に知名度の高いブランドを迎えることでHRテクノロジープラットフォームが強化され、加えて経験豊かで優れた人材がグループに加わることで、求職者ユーザーと求人企業の双方に提供するサービスを更に強化・深化・拡大させることが可能になり、拡大するHRテクノロジー事業領域での更なる事業拡大を可能にするからです。

■ P10 : 連結業績への影響

本件は保有する現預金で全額充当いたしますので、本件実行のために借入金あるいはエクイティファイナンスを行う予定はありません。

2018年7月末に本件が完了し、本年度は8ヶ月間業績寄与があると仮定いたしますと、売上収益で約160億円、EBITDAで約マイナス30億円（取引に関わる費用や給与やインセンティブに関わる費用を勘案した金額）、そして調整後当期利益には約マイナス31億円の影響を試算しております。

5月15日に予定している2018年3月期通期決算発表にて公表予定である2019年3月期連結業績予想には、この影響を織り込む予定です。

以上

免責事項

本資料の作成にあたり、当社は当社が入手可能な情報の正確性や完全性に依拠し、前提としていますが、その正確性あるいは完全性について、当社は何ら表明及び保証するものではありません。

また、将来に関する記述が含まれている場合がありますが、実際の業績は様々なリスクや不確定要素に左右され、将来に関する記述に明示又は黙示された予想とは大幅に異なる場合があります。したがって、将来予想に関する記述に全面的に依拠することのないようご注意ください。

本資料及びその記載内容について、当社の書面による事前の同意なしに、第三者が、その他の目的で公開又は利用することはできません。